この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 骨転移診断における物質密度画像の有用性に関する後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2021 年 6 月～2021 年 12 月の期間に当院にて通常診療により骨転移の検索目的に dual energy CT で CT 検査を受けた 20 歳以上の方
	●研究の目的 骨転移は癌の転移の中で比較的頻度が高く、発生部位によって様々な症状をきたすため、重要な病変です。骨転移検索には CT が広く用いられていますが、CT では診断困難な骨転移が存在することが知られています（骨梁間型あるいは骨髄転移）。このタイプは骨シンチグラフィでも診断が困難であり、MRI や FDG-PET が診断に有用であると報告されています。MRI や FDG-PET は検査時間が長いことやコストが高いといった理由で癌患者全員に行うことはできません。近年発達し、臨床に普及しつつある dual energy CT では物質弁別画像を作成することができ、骨転移の検出に有用との報告がありますが、多数の症例を対象とした検討は現在のところなされていません。本研究では dual energy CT から作成した物質弁別画像（水/ハイドロキシアパタイト画像）を従来の画像に追加することで、骨転移の検出能が向上するかを検討することを目的としています。

	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 2026 年 3 月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究から得られた試料・情報及び研究結果は、倫理審査委員会の審査及び研究機関の長の承認にもとづいて、以下のように提供します。 【提供する内容】 血液検査結果、患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、生活歴、臨床診断名など）、臨床検査結果（血液学的検査、腫瘍マーカーなど）、CT データ 【提供先】 「別紙：研究体制一覧」に記載の共同研究機関 【利用目的】 画像解析のため
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、CT 画像、カルテ番号　等
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　放射線科診療科群　尾﨑公美 岐阜大学 放射線科 松尾政之 山梨大学 医学部 放射線医学講座　大西 洋
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	浜松医科大学　放射線科診療科群　尾﨑公美
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。

≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　放射線科診療科群 担当者：　尾﨑公美 TEL：　053-435-2242 E-mail：　ozaki@hama-med.ac.jp

別紙：研究実施体制一覧

【研究機関名】 浜松医科大学
【研究責任者】 尾﨑公美

【共同研究機関】	
機関名	研究責任者
岐阜大学	（氏名）松尾政之

【共同研究機関】	
機関名	研究責任者
山梨大学	（氏名）大西洋